

東京大学が文京区になかったら

「文化のまち」はいかに生まれたか

樺山紘一＋伊藤毅ほか 著

ISBN978-4-7571-4344-9 本体：1900円 A5判並製・224ページ(予定)

No.1文教地区はいかにして誕生したか？

東京23区を中心に近く、俗にいう「山の手」の一角にある文京区。いまや全国きっての文教地区として知られるこのまちは、いかにつくられたのか。江戸時代には大半が武家地だったこの地域が変わったのは、たまたまここに「東京大学」が設立されたからではないか？——この仮説をもとに、文京区生まれの歴史家と世界の街並みを研究する建築史家が対談。さらに近郊農村地帯からの農作物の流通、出版・印刷業の発展、東京ドーム付近にあった「砲兵工廠」など、「文京区はいかにつくられたか」を解明する「ちまたの歴史学」。

目次

- 第1章 もし東京大学が文京区になかったら？
- 第2章 もし砲兵工廠が小石川になかったら？
- 第3章 近郊農村地帯としての小石川・本郷
- 第4章 武家屋敷の変遷と近代の山手住宅地の誕生 など

略歴

樺山紘一(かばやま・こういち)：東京大学文学部名誉教授(西洋中世史・文化史)・印刷博物館館長。元文京区教育委員会委員長。文京区史編纂委員会委員長。文京区出身で現在も在住。
伊藤毅(いとう・たけし)：東京大学大学院教授(都市建築史)。世界の街並み(文京区も)を研究。
初田香成(はつだ・こうせい)：東京大学大学院助教(都市建築史)。都市の雑踏やヤミ市を研究。
松山恵(まつやま・めぐみ)：明治大学文学部准教授。江戸・東京の都市史を研究。
赤松加寿江(あかまつ・かずえ)：京都工芸繊維大学専任講師(イタリア都市史)。文京区生まれ。
高橋元貴(たかはし・げんき)：東京大学工学系研究科学術支援職員。専門は日本近世都市史。
森朋久(もり・ともひさ)：明治大学兼任講師。専門は日本村落史・日本近世藩政史・博物館情報学。
勝田俊輔(かつだ・しゅんすけ)：東京大学文学部准教授。専門はアイルランド近代史。文京区在住。

NTT出版株式会社

〒141-8654 東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル3F

営業部 TEL:03-5434-1010 [土・日・祝日を除く]

貴店印

条件	書籍名	本体価格	ISBNコード	冊数
新刊委託	東京大学が 文京区になかったら	1900円	978-4-7571- 4344-9	

 **FAX 03-5434-9200**
(24時間受付中)

ご担当者名